



どこに避難すればいいの？

安全な浸水想定区域外(白い部分)の場所へ！

- 避** 難所は早い段階で満員になる場合があります
 - 浸** 水の恐れがない三和地区や総和地区(北側)に避難
- ※必ずしも避難=避難所ではありません。
 ※避難の必要がない人(白い部分に住んでいる人)は避難所に行くのを控えてください。

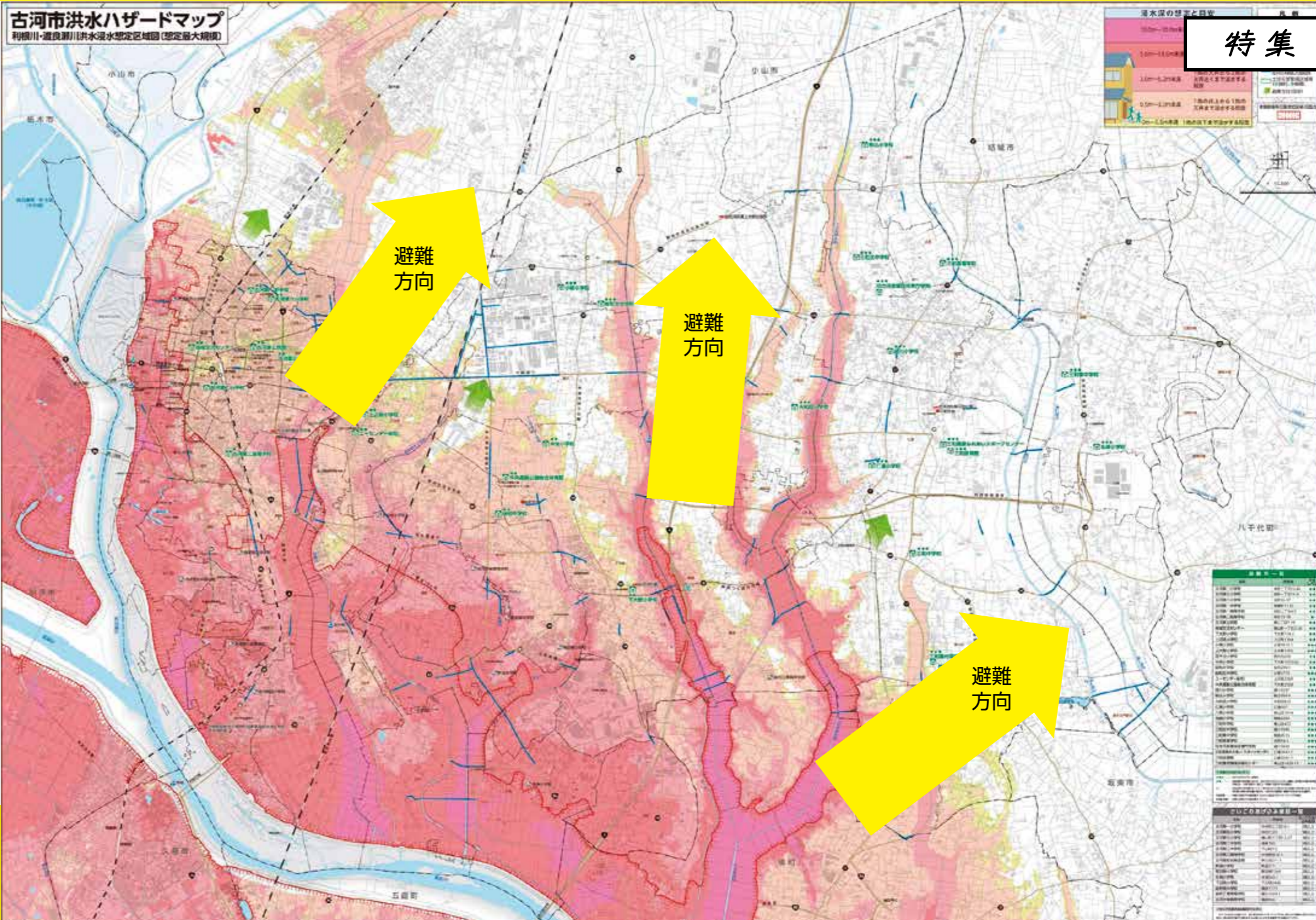
マップにある★ってなに？



★は避難所の安全レベルを表しています！

- ★★★★・・・浸水の恐れがない避難所
- ★★・・・計画規模の降雨量であれば、浸水の恐れがほとんどない避難所。しかし、想定最大規模の場合は、一時的に2階以上へ避難の可能性がある
- ★・・・計画規模の降雨量であっても、1階が浸水する可能性がある避難所(駐車場は水没します)

計画規模…利根川上流での平均降雨量が累加336mm
 想定最大規模…利根川上流での平均降雨量が累加491mm
 ※台風19号の時は、利根川上流での平均降雨量が累加310mmでした。



特集



さいごの逃げ込み施設って？

水害対応においては、「避難場所」を「さいごの逃げ込み施設」という名称に変更しました。この施設は、万が一浸水想定区域外(ハザードマップの白い部分)へ避難することができない場合に、命を守るために逃げ込む施設です

最初から「さいごの逃げ込み施設」には避難しないで！

- ・水害時には孤立します(車も水没します)
- ・停電や断水のほか、トイレなども使えなくなります

水害から「命」を守るためには早めの避難しかありません。
 洪水ハザードマップ・ガイドブックは市役所各庁舎で配布していますので、自身の避難行動に役立ててみましょう。
 問 防災・危機管理課(総和庁舎)
 TEL92-3111

市では、4月に新たな洪水ハザードマップ・ガイドブックを発行しました。このマップは、今までに皆さんが経験したことのないような雨量想定最大規模に対応したものです。主な変更点としては、各避難所に安全レベル(★)で表示の設定や、避難所内に障がい者などの要配慮者スペースの確保、ペットと一緒に屋内避難ができる避難所を設置しました。また、これまで設置していた避難場所は「さいごの逃げ込み施設」という名称に変更しました。これは遠くに避難する手段を持たない人や、逃げ遅れてしまった人が、命を守るために最終的に避難する施設です。

台風19号の経験を踏まえ水害時に、いつ・どこに避難するのかを整理できるように、市民の皆さんには次のことをしっかりと意識してもらいたいと考えています。

- 市民一人一人が自宅の水害リスクをしっかりと知る
- 浸水リスクのない「浸水想定区域外」に避難する意識をつける
- 「浸水想定区域外」へ避難できない人は、事前に安全な施設を決めておく

ガイドブックでは、いつ・どこに避難するかをあらかじめ決めておくマイ・タイムラインが作成できるようになっていきます。家族と一緒に考えてみましょう。